

## 河川事業の再評価概要書

( ) は、前回再評価時

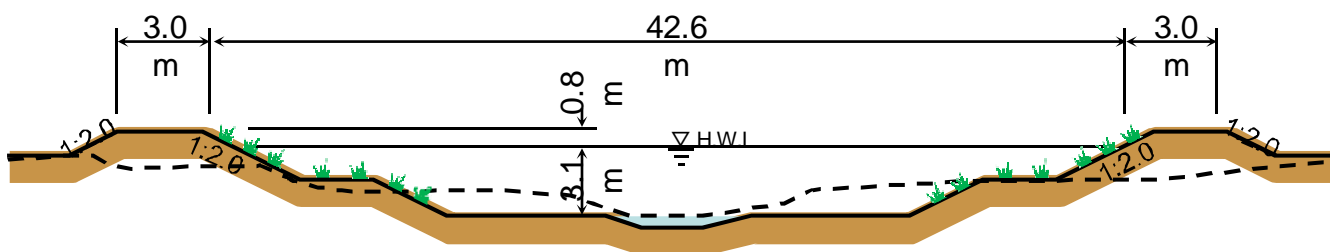
番 号		107	
事業主体		栃木県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>ながのがわ</small> 永野川	事業箇所名	<small>とちぎし</small> 栃木市
事業区間	<small>とちぎししりうちまち</small> 栃木市尻内町地先～ <small>とちぎしほしのまち</small> 栃木市星野町地先	事業延長	7,075m
平成9年度事業化		平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9 ~ H28) H9 ~ H28	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[3.8 (3.8) 億円] 28.8 (28.8) 億円		[うち用地補償費] 既投資事業費
進捗率 [97%] 93%			
事業概要			
<p>永野川は、その源を足尾山地の尾出山<small>おでやま</small>に発し、南東に南下しながら、栃木市を経て、巴波川へ合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し、浸水被害の解消を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
計画区間の沿川で、県営圃場整備事業（寺尾北部地区、A=51ha）を実施していた。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体 B/C=18.9		817.0億円	43.3億円 [L=7,075m 区間]
2) 残事業 B/C=1.9		4.7億円	2.4億円 [L=560m 区間]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地、学校、道路や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
事業延長 7,075mのうち、尻内橋から山口橋（一部橋梁部を除く）の6,515mの整備が完了している。			
② 今後の事業進捗の見込み			
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
関係機関と調整を行い取水堰及び橋梁の統廃合を行い、工事費の縮減を図っている。			
② 代替案立案等の可能性			
計画区間において、築堤工事が概成していることから、現行計画で事業を進めることが最適である。			
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。	

# 事業箇所(位置図、概要図)

## 位置図



## 標準断面図



計画流量	350m <sup>3</sup> /s
現況流下能力	概ね160m <sup>3</sup> /s

## 概要図

